

平成19年 2月27日  
近畿日本ツーリスト株式会社  
総務・広報部 担当：澤野井  
(TEL：03 - 3257 - 1661)

## 旅行取扱状況の概観（平成19年1月分）

海外旅行の取扱額では、好調に推移していた学生団体が大きく落ち込んだが、一般団体旅行が取り扱い好調で前年実績を大幅に超えたため、合計では前年を大きく上回った。企画旅行ではホリデイ、その他企画旅行共に好調で、合計では4ヶ月連続の前年比プラスと好調を継続した。個人旅行は航空券の取扱いは増加したが、合計では前年実績に届かなかった。この結果、海外旅行合計は前年比105.8%と前年実績をオーバーし、9ヶ月連続の前年比プラスとなった。

国内旅行の取扱額では、団体旅行は一般団体が不振、学生団体も低調で、合計では前年実績に達せず依然低迷が続いている。企画旅行では、メイトの取り扱い好調により、合計では前年実績をオーバーした。個人旅行では、年始の需要を取り込み、JR券、航空券、宿泊券、その他クーポン券の取り扱いが好調で、個人旅行計は大きく前年実績を上回り3ヶ月ぶりの前年比プラスとなった。これにより、国内旅行合計は前年比106.7%と5ヶ月ぶりに前年実績を上回った。

国際旅行は個人旅行の取り扱い好調により、前年比183.1%と大きく前年実績を超え、3ヶ月連続の前年比プラスと好調に推移した。

1月の総取扱額は、国内旅行、海外旅行、外国人旅行がすべて前年実績をオーバーし、前年比106.6%と前年比プラスのスタートとなった。

### 1. 海外旅行

#### (1) 団体旅行

一般団体は、取り扱い件数が増加し2ヶ月ぶりの前年比プラス。一方、好調に推移していた学生団体は、団体件数の減少および前年の取り扱い好調の反動もあり、前年実績を大きく下回り8ヶ月ぶりの前年比マイナスとなった。団体の方面別取り扱いでは、好調の続いている中国、韓国を筆頭に、台湾、グアム・サイパン、ハワイが好調であった。

#### (2) 企画旅行

ホリデイは取扱額前年比108.4%、取扱人数前年比100.5%と、取扱額、取扱人数共に前年実績をオーバーし好調に推移した。取扱額と取扱人数の乖離は燃油サーチャージの影響によるものが大きい。ホリデイの方面別取り扱いでは、傾向は前月と変わらず、中国、台湾、香港および東アジアのリゾート地が好調であった。

### 2. 国内旅行

#### (1) 団体旅行

一般団体は取り扱い件数が増加せず、加えて前年大型団体の取り扱いの反動もあり、前年実績を大きく下回り低迷が続いている。学生団体も、主力の校外研修等の取り扱いが低調で、前年実績に達しなかった。

#### (2) 企画旅行

メイトは、新年の需要を取り込み、取扱額前年比106.5%、取扱人数前年比104.2%と共に前年実績を超え、2ヶ月ぶりの前年比プラスと好調。商品別の状況では、九州、沖縄および関西地区商品が好調で、近場商品も取り扱い堅調であった。

(以 上)